

事務事業名	地域包括支援センター職員派遣負担金事業	所属部	健康福祉部	所属課	地域包括支援センター
政策名	総合計画体系 (Ⅲ) 地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	包括支援G	課長名	足立清子
施策名	(18) 高齢者福祉の充実	担当者名	三成裕子	電話番号 (内線)	0854-40-1043 3622
基本事業名	(052) 自立支援とサービスの充実	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 115 005 606 002	地域包括支援センター事業負担金	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (18年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	地域包括支援センターを設置運営する上で配置が必要な専門職員(看護師・社会福祉士)の派遣を市内の事業所より受ける。	介護保険法による地域包括支援センターが設置され、介護予防事業が開始になったため

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	負担金 29837千円	事業費	国庫支出金 千円	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体計画
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	負担金支払い、派遣元との協議	事業費	県支出金 千円						
		事業費	地方債 千円						
		事業費	その他 千円	24,650	25,340	29,467	27,000	27,000	
		事業費	一般財源 千円	215	364	370	200	200	
		事業費	事業費計(A) 千円	24,865	25,704	29,837	27,200	27,200	
		人件費	正規職員従事人数 人	2	2	2	2	2	
		人件費	延べ業務時間 時間	96	95	273	95	95	
		人件費	人件費計(B) 千円	366	369	1,076	0	0	
		トータルコスト(A)+(B) 千円		25,231	26,073	30,913	27,200	27,200	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	本庁1人(社会福祉士 きすき福祉会) 大東3人(看護師 社会福祉士 社協) 三刀屋2人(看護師 社協)							
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	きすき福祉会からの派遣なし 社協からの派遣変更なし							
手段	⑤ 活動指標	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	ア	派遣人数	人	5	5	6	5	5	
	イ								
	ウ								
	エ								
	オ								

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	地域包括支援センターの運営体制	⑥ 対象指標	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
		ア	保健師等(看護師を含む)	人	6	6	7	7	7	
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	地域包括支援センターの運営体制業務遂行が円滑に出来るよう体制を整備する	イ	社会福祉士、主任介護支援専門員	人	4	4	5	6	6	
		⑦ 成果指標	ア	年間相談件数	件	10775	12183	14196	14200	14200
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	生きがいを持って、いきいきと暮らす。	イ								
		⑧ 上位成果指標	ア	生きがいを感じている高齢者の割合	%	65.5	75.7	78.7	70	70

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
派遣を受ける人数は1名減となる。今後は人材の確保とそのローテーションをどうするのが課題となる。	特になし	特になし

事務事業名	地域包括支援センター職員派遣負担金事業	所属部	健康福祉部	所属課	地域包括支援センター
-------	---------------------	-----	-------	-----	------------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 地域包括支援センターを運営するのに欠かせない職種の確保を目的としている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 地域包括支援センターの運営を市が行っており、それに係る費用(派遣職員の人件費)については行政が負担すべきものである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 派遣の目的が包括支援センターの体制整備等にある。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 現状で、各事業所より専門的な知識を有する職員を派遣してもらっており、今後も同様に派遣をお願いするものである。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 専門職種の派遣がなくなれば、現状の正規職員では対応できないので、地域包括支援センターとしての業務が遂行できなくなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 現状では職員派遣にて対応するのが最適と思われる。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 派遣職員の人件費である。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か?成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 派遣職員に係る事務としては、それほど業務量はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 地域包括支援センターの運営を市が行っており、それに係る費用(派遣職員の人件費)については行政が負担すべきものである。体制整備等が雲南市内の高齢者の安心した生活につながる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	専門職員の派遣は、地域包括支援センターの設置及び業務遂行上欠かせないものであり、今後も派遣が必要と思われるが、その人材確保とローテーション等が課題となる。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 職員体制の見直し																							